

## 行事で成長する生徒の育成

### ～運動会を通して～

#### 1. 設定理由

昨年度の3年生を送る会2日前に事件は起こる。1・2学年合同練習で当時の2年生が全く歌わない。特に男子の無気力な様子に全職員が唖然とした。

危機感を感じた学年職員は、男子生徒に繰り返し指導した。初めておとなの本気を感じたのだろう。「僕たちはこのままではダメだ」「変わりたい」生活ノートに書いたり、発言したりする生徒が出てきた。送る会での2年生の様子は劇的に変化しており、その後の卒業式も素晴らしいものになった。

これまで指示待ちを繰り返してきた集団が、行事をきっかけに劇的に変化できる。きっかけは教職員であった。でも、生徒は変わりたいと思っている。このままでは駄目だと感じている。

今こそ教職員主導では無く、生徒自ら考え、動き、行事を成功させたときの達成感が生徒を大きく成長させられる時だと思い、本主題を設定した。

#### 2. 研究仮説

生徒自らが考え、動き、運動会を成功させたときの達成感を味わわせることで、生徒を大きく成長させ、その後の学校生活を意欲的に送ることができるだろう。

#### 3. 研究内容

- (1) 生徒が主体的に運営する運動会の組織作り
- (2) 今年度から新たにとりくむ種目を通して、能動的に行動を起こす生徒の育成

#### 4. 結論

- 生徒主導で運動会を運営できるように組織作りを見直したことで、生き生きと活動する生徒の様子が見られた。生徒が主体的に運営する運動会を行うことができた。
- 今年度の運動会から新たに全校生徒による早野ソーランを実施した。各学年のリーダーを中心に多くの生徒が能動的に行動を起こし、団結力を高めることができた。生徒の感想から、新たなとりくみを成功させた達成感や、これからの生活に活かすといったコメントが多くあり、生徒の成長を感じることができた。
- 運動会後の行事でも、生徒が主体的に動けるような組織運営を、学校全体で継続することで、学校生活を意欲的に送ることができている。

## 行事で成長する生徒の育成 ～運動会を通して～

### 1. 設定理由

昨年度の3年生を送る会の2日前に事件は起こる。1・2学年合同練習で当時の2年生が全く歌わない。特に男子の無気力な様子に全職員が唖然とした。学年職員の呼びかけにも変化はない。やり直しの連続。男性職員の怒号が飛び交うが、一向に変化はない。生徒の表情に驚いた。無表情。教職員がいくら怒鳴っても表情を変えないし、呼びかけへの反応もない。落ち着いた早野中でこれほどまでに教職員が声を荒げることは近年なかったことだ。

これまで特に大きな問題を起こすことなく、学力も高く、手のかからない学年として認識されてきた2年生。でもそれは間違った認識であった。手がかからない集団だったのではない。一部の生徒が生徒会や、委員長も行い、他にも様々な仕事を兼務していた。授業でも一部の生徒が発表し、その他大勢は静かに授業を聞くだけであった。授業を妨害することはない。反抗することもない。言われたことはする。無気力な指示待ち集団がそこにあった。

早野中学校は五郷小学校から上がってくる生徒のみで構成されている。いわゆる一小一中である。生徒間の関係は深く、家族ぐるみで仲良くしている家庭は多い。一方、なれ合いの人間関係から、競争心は低く、生徒間の序列は小さい頃から変わらない。小学校での関係は中学校になっても継続しており、新たな人間関係を築けずにいることが課題である。

もともと小学校でリーダーを任されてきたのは女子であった。中学に上がり、生徒会に2名の男子を立候補させた。男子のリーダーになって欲しいと期待する2人だ。しかし、一年後の生徒会選挙には立候補しなかった。一生懸命に活動していたし、それなりに達成感があったと思うが、上の学年について動いていただけだったのだろう。部活と勉強に専念したいという理由であった。

いよいよ最高学年が近づき、自分たちで考え動くことが求められると、女子のリーダーとされてきた生徒も、男子に遠慮し発言が少なくなってきた。そして3年生を送る会を迎えることになる。男子の無気力さに危機感を感じた学年職員は、合同練習後の放課後、翌日の昼休み、午後の授業を使って男子生徒に繰り返し指導した。その様子は異様な光景であった。初めておとなの本気を感じたのだろう。「僕たちはこのままではダメだ」「変わりたい」生活ノートに書いたり、発言したりする生徒が出てきた。送る会での2年生の様子は劇的に変化しており、その後の卒業式も素晴らしいものになった。

これまで指示待ちを繰り返してきた集団が、行事をきっかけに劇的に変化できる。きっかけは教職員であった。でも、生徒は変わりたいと思っている。このままでは駄目だと感じている。今こそ教職員主導ではなく、生徒自ら考え、動き、一つの行事を成功させたときの達成感が生徒を大きく成長させられる時だと思い、本主題を設定した。

### 2. 研究仮説

生徒自らが考え、動き、運動会を成功させたときの達成感が、生徒を大きく成長させ、その後の学校生活を意欲的に送ることができるだろう。

### 3. 研究内容

設定した研究仮説に基づき、以下の内容で研究を進めている。

- (1) 生徒が主体的に運営する運動会の組織作り
- (2) 今年度から新たにとりくむ種目を通して、能動的に行動を起こす生徒の育成

### 4. 研究の実際

- (1) 生徒が主体的に運営する運動会の組織作り
  - ・職員会議で強調して伝えたこと、新たに付け加えたことを抜粋して以下に掲載する。

## 2017（平成29年度）運動会実施計画

茂原市立早野中学校

### 1. 目的

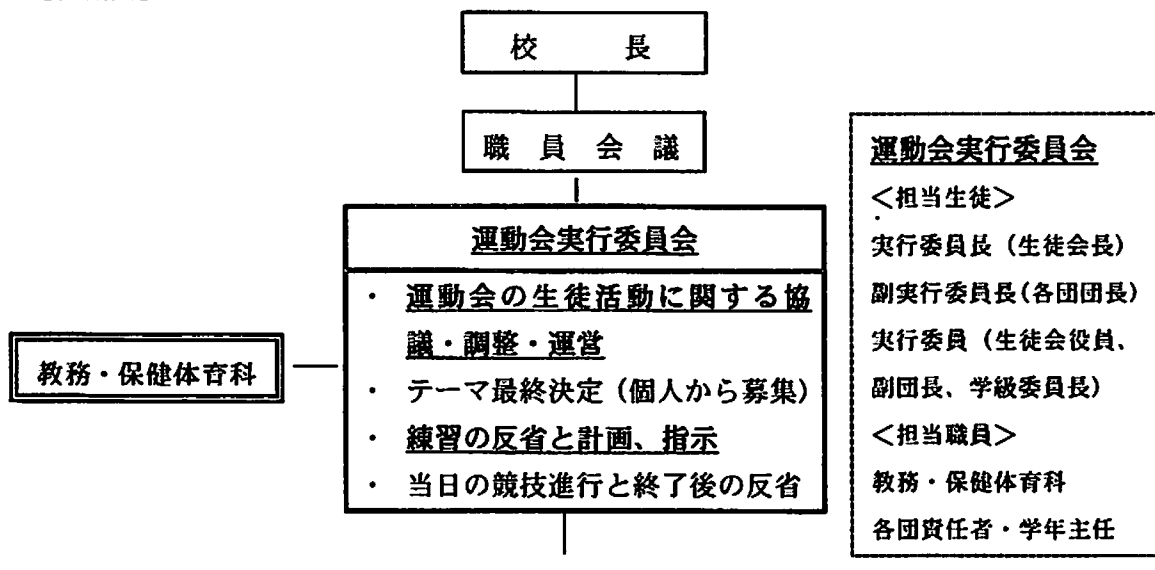
(1) 運動会の準備や運営等を通して、3つの生徒像の実現に迫る。

- ① 思いやりがあり、良いことを進んで実践する生徒。
- ② 目標に向かって努力し、自主的に行動する生徒。
- ③ 進んで体を鍛え、ねばり強く行動する生徒。

### 3. 企画・運営

- 生徒の活動については運動会実行委員会を組織し、協議・調整・運営にあたる。
- 運動会実行委員会は次の役員により構成される。
  - ☆ 実行委員長 [生徒会長 (1)]
  - ☆ 副実行委員長 [各団団長 (3)]
  - ☆ 実行委員 [生徒会本部役員 (6)、各団女副団長 (3)、学級委員長 (6)]
- 運動会の練習後は原則として毎日会議を行う。
- 学年種目関係は、学年生徒会で決定する。(各学級3名ずつ)

### 【組織図】



生徒会	応援団・スローガン	専門委員会	学年生徒会
<ul style="list-style-type: none"> <li>全校生徒への働きかけ</li> <li>各色別の応援費用分配と会計整理</li> <li>エール</li> <li>テーマ表彰</li> </ul> <p>&lt;担当生徒&gt; 生徒会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応援組織、規定の作成と運営</li> <li>団の団結をはかるための活動</li> <li>スローガンの企画製作</li> <li>応援合戦</li> </ul> <p>&lt;担当生徒&gt; 応援団・スローガン担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会準備</li> <li>運動会片づけ</li> <li>別紙参照</li> </ul> <p>&lt;担当生徒&gt; 全生徒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ決定</li> <li>学年種目決定</li> <li>学年練習の運営</li> </ul> <p>&lt;担当生徒&gt; 学級委員長 学級副委員長</p>

4. その他（各組織で用意しておくこと）

- 運動会実行委員会  
仮プログラム完了、練習計画
- 学年生徒会  
学年種目ルール及び種目名決定、種目説明用紙及び放送用原稿提出

職員会議では、生徒主体の運動会を運営するために、昨年度まで教職員が行うのか、生徒が行うのかははっきりしなかった仕事について責任の所在をはっきりさせた。原則は生徒が企画し、教職員が確認するという流れを確認し、期限を設けて計画的に準備を進めた。

練習期間中は、放課後に運動会実行委員会を毎日行った。実行委員長の司会のもと、生徒会、団長、学年生徒会の立場から今日の練習の反省と明日の確認を行った。確認事項や決定事項に関しては、翌日の朝の会で学級委員長から各クラスに連絡し、教職員が補足することとした。仕事が明確になったことで、各組織の長を中心に責任を持って、主体的に仕事を進められたように思う。

(2) 今年度から新たにとりくむ種目を通して、能動的に行動を起こす生徒の育成

昨年度の第35回早野中運動会をもって、これまで続けてきた組体操を終えることにした。理由としては、全国的にも組体操を中止にしている学校が増え、長生郡市で続けている学校は早野中だけになっていること。また、これまで大きなけが人を出したことはないが、ヒヤットとする場面は何度もあったこと。技の難易度や高さを低くしながら継続してきたが、生徒の体格面、生徒数の減少から大けがに繋がるリスクが年々高くなってきていると感じ、今年度から組体操を実施しないと告げてあった。

4月、新たにとりくむ種目も含めた今年の運動会の種目について検討すべく、『種目検討委員会』を発足した。運動会の中心となる3年生を対象にアンケート等を実施し、種目を決定した。以下は種目決定までの流れである。

『運動会種目検討委員会』 <担当生徒> ○委員長(生徒会長) ○委員(生徒会役員、体育委員)  
・種目決定までの流れ、日程、方法

① 4月6日(木) 3年生 保健体育授業

種目を加える or 加えない  
3年生 56名<挙手>

追加

『種目検討委員会』4/6(木) 昼休み

・種目を加える。89%  
・種目を加えない。11%  
約9割の生徒が種目を新たに加えたいと答えた為、  
新たに加えることにした。

② 4月10日(月) 3年生 保健体育授業

新たに加える種目について、どのような形態で  
行いたいですか。また、具体的な種目についても  
書いてください。3年生 56名<アンケート>

<アンケート結果：形態(内容)>

- ・男女合同ダンス(ソーラン節、よさこいソーラン)
- ・男女別ダンス(ヒップホップ)
- ・学級対抗種目(大縄、リレー、綱引き)
- ・部活動対抗種目(リレー、部活動行進)
- ・地域対抗種目(リレー)

『種目検討委員会』4/10(月) 放課後  
時間的な問題から、新たに2種目  
加えることとした。

意見の多かった、男女合同ダンス、  
学級対抗種目、部活動対抗種目に絞  
り、具体的な種目を提示し、多数決  
と選んだ理由を次のアンケートで  
聞くことにした。

形態を絞り、種目検討

③ 4月14日(金) 3年生 保健体育授業

具体的な種目と内容の提示をし、検討  
3年生 56名<アンケート>

- 学級対抗…大縄(賛成72%)
- △男女合同ダンス…ソーラン節(賛成67%)
- ×部活動対抗…部活動対抗リレー(賛成48%)

『種目検討委員会』4/14(金) 放課後

多数決の結果、全体の約半数の人が賛成した3つの種目に絞って検討した。

- ・男女合同のダンス…ソーラン節 ・学級対抗の種目…大縄
- ・部活動対抗の種目…部活動対抗リレー

部活動対抗リレーについては、部活数が少なく実施するのは難しいであろうということでまどまどした。大縄については、クラス対抗種目として学年差があまりでないのではないかとということと、クラスの団結力が高まるという意見が多く、実施する方向でまどまどした。ソーラン節についてはやってみたいという意見が多かったが、踊れるのか不安という意見が多く出ていた為、再度検討することにした。

④ 4月18日(水) 3年生 保健体育授業

他中のソーラン節の映像を見せ、再度検討・確認 3年生 56名<記名でのアンケート>

ソーラン節は、袖ヶ浦市立昭和中学校で行われている「南中ソーラン」の映像を取り寄せて生徒に見せた。あまりのレベルの高さに驚いた様子であった。私自身も教える自信がなく、不安しかなかった。だからこそ、中心となる3年生の率直な気持ちを知りたくてアンケートを実施した。以下は生徒の感想である。

・南中ソーランを見た感想

・早野中には人数があまりいませんが、全員が団結して、早野中らしい南中ソーランがおどれたら良いなと思いました。

南中ソーランはとてもほかが、

特に、勢が声が入ってきてびっくりしました。

早野中でできるのであればやってみたいですが、本気でやらないといけないし、全員の団結が必要ではないと思います。

昨年、組体操とダンスでとても盛り上がっていたけど、今年から変わることに。この「南中ソーラン」初めて見ますが、いいと思った。そして、これなら、中学最後の運動会にふさわしいと思った。それぞれの団体が1つになり、声を出して、心を合わせて、堂々とした姿がとてもいいと思った。

南中ソーランやってみたいです。

私は、ソーラン節を見てとりはだかたちきました。

ソーラン節は全員が一生懸命やっ力を合わせないとできないし、カッコよく見えないので、団結力がためされると思います。

でも私はその団結力や自分自身の気持ちを強くしたいから、私はソーラン節をやりたいです。

男女でソーラン節をやりたいです。運動会の思い出としてみんなで団結してのちのちを思い出したいからです。

みんなが本気で心を合わせてあげれば、きっとすごいことができるはず。

昭和中のソーラン節は、そろっていて、声も出ていて、圧感でした。

立ち位置が工夫されていてすごいなと思いました。

もしやるんだら、これくらいそろえて、声を揃えたいとカッコよくならないかと思いました。

南中ソーランは、またみんなやることなので、そろえるのは、とても難しいと思う。

しかし、早野中は、今まで組体操とダンスをやったとき、関係なく団結できる場所があった。

これをなくしてはいけないと僕は思う。

なので僕は、みんな協力して南中ソーランをつくりあげたいと思った。

ソーランダンスを見て...

すごい力強かった

映ろうも見て鳥肌がたつた

早野中全員でやたらすごいおどろきと思った

団結力がすごかった

声!! びっくりした

早野中でもやりたい。

ソーラン節は、声がかかっていて運動会に向いて、いいと思う。

運動会では、各クラスや部活でやるのじゃなく、みんなで団結して出来る競技が良くて、私は思う。

そうする事で、1年生や保護者地域の人に早野中全体のふいんさを感じてもらえるかなって思う。

・感想抜粋

「中学校最後にふさわしい。」「自分自身の気持ちを強くしたい。」

「難しいと思うが、団関係なく、学校全体で団結できる場所をなくしてはならない。」

「運動会では、各クラスや部活でやるのも良いと思うが、全体で団結してできる競技が良いと思う。早野中全体の雰囲気を感じてもらうことができる。」

「みんなが本気で心を一つにすればきっとすごいものができるはず。」

「全校の男女でソーランを踊って、最後の運動会を楽しみたい。」

・感想を読んで

まじめにやらない人がいるから、おもしろいほうがいい、大変そう、男女別のほうがいい、できない…などの理由でやらないほうがいいと答えた生徒もいる。しかし、難しいけど挑戦してみたいと前向きな意見を書いた生徒は73.5%と多数を占めた。

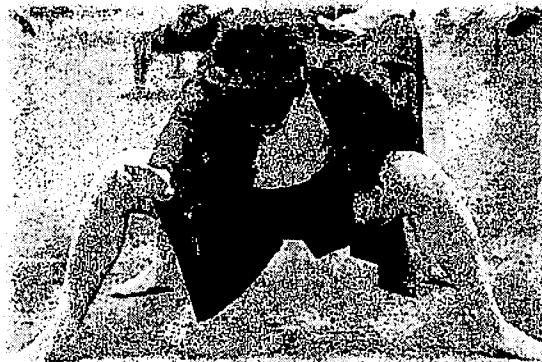
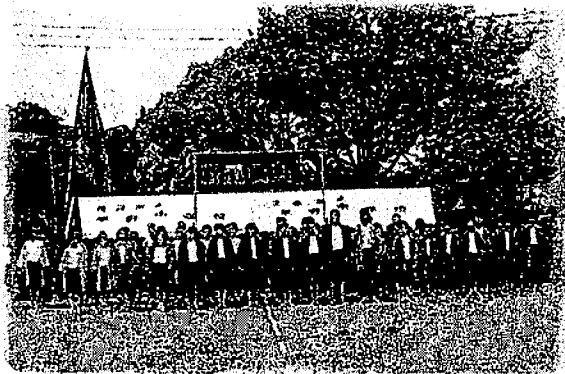
やらないほうが楽である。創り上げる種目をやっていない学校も多い。でも、生徒の意見を集約し、感想を読んで気付かされたのは、指導者の私が楽をしようと思っただけだということである。3年の生徒の約7割は腹を据えて、新たな種目に挑戦しようと思っている。私も本気になって「早野ソーラン」をこの3年生と共に創り上げようと決心し、一緒に頑張ろうと生徒に伝えた。

・運動会特別日課

H29 運動会特別日課 No.1									
	朝 団・ス	1校時 8:40～	2校時 9:40～	3校時 10:40～	4校時 11:40～	5校時 13:30～	6校時 14:30～	放課後 ～18:30	備考
2日 (火)	不可	※3年体育	火2	火3	結団式				長生教研 ※45分授業 放課後活動 応援団、スローガン
8日 (月)	不可	※2年体育	※3年体育	発表種目① ソーラン	※4年①	開・閉公式 体操①	学年種目①	実行委員会 応援練習 スローガン	・ジャージ登下校可
9日 (火)	可 7:00 ～ 7:55	※5年体育	※4年体育 (在3年体育) ※3年体育	全団体種目① 騎馬戦・棒引き	綱引き① 色別リ ムカデ②	発表種目② ソーラン	学年種目②	実行委員会 応援練習 スローガン	・10-ダシ 完成予定日
10日 (水)	可 7:00 ～ 7:55	※2年体育	全団体種目② 綱引き② 騎馬戦・棒引き	発表種目練習② ソーラン	応援	開・閉公式 体操②	エール交換 係合同練習 100m・200m	実行委員会 応援練習	※100m・200m走の予行 予行用プロ配布 ・学年種目用具準備
11日 (木)	可 7:00 ～ 7:55	○運動会予行○ ※大綱(一斉)、応援(一斉)				反省に基づく練習		実行委員会 応援練習	・本プロ配布 ・胸部X線撮影9:00
12日 (金)	可 7:00 ～ 7:55	発表種目③ ソーラン	学年種目確認 役員最終打合せ	会場設営		大綱練習	応援	実行委員会 応援練習	・種目用具準備 ・生徒下校17:00
13日 (土)	運 動 会								・編成決定6:00

ソーラン節の練習は4月24日(月)から開始した。練習は学年5回、全校5回であった。短い期間での練習であったが、私と3年のソーランリーダーから各学年のリーダーに教え、各学年のリーダーが中心となって練習を進めた。授業中だけでなく、休み時間にも集まって練習している様子があった。

《早野ソーラン》



《学級対抗大縄とび》



《運動会を終えて》

3年生の感想

今年初めてのソーランはみんなの「どいしょ×2ソーラン×2」の声も出て、踊りも外はくおどけて感動しました!! アンコールは、とてもびっくりしました。ソーランも通じて団結など私達の足りない部分を学べたかなと思います。ここで学んだものを学校生活に活かしていきたいです!



ソランバシでは、練習してる時に  
おこらぬたり、注意されたこともあったけど、  
みんなとソランバしかよどいってよかったです。  
さいごの「セイナー」のところがそろうたりして  
とてもキレイだった。  
分らないところは友達とよく話しあって、  
さらに仲よくなったこともうれしかった。  
おこらぬから、みんながよどいって、  
各団どうだ「リビ」リーグをやらせた人は、それが  
とてもいい経験になった人じゃあないかな。

<早野ソラン> 色々ミスをした。でも、  
初めて今年が始まったけど、とても楽しくてきた。  
3年は負持ちたい、タヌンター決める時よ、  
全然出なくて怒られて、僕たち3年は自覚が  
なかったと思ってる。今回だけイヤという、切り替えて  
「最上級生」として生活していく。

今年初めの頃はみんながよどいて、とても楽しかったと私は思ってる。  
良くなったという事で、積極性が足りなくて、お互いが困った  
ところがあった。けれど、このソランを通じて個人個人の気持ちも変わって  
いったと思ってる。(団結力が合っているから...!!)

1週間という短い期間で、こんなに色々な思い出を作ることができた。  
とても練習したかいがありました!!  
すごく楽しかったです!!  
私たちが、とても団結力が高いんだなって思っています!! 早野中 編

短い期間で、みんなよく頑張ったと思います。来年やってもいい  
このソランで3年も自分たちが何年後かに思い出したいの  
気持ちがあったりして、良かったと思う。

早野ソランの初めの頃で、最初はみんながよどいて、大変だったけど  
1年、2年と出た後、みんなの頑張りが、思っていたよりも、みんなの練習  
のおかげでみんなの力がアップして、素晴らしい思い出が作られた。  
みんながよどいて、この自信が、来年も頑張るための力になってくれる  
と思います。

早野ソランのみんな、事がよどいて楽しかった  
そろう、たのび(のび)く、よどいて楽し  
かった。今の3年生は自分たちが、よかったと思ってるけど  
ソランで、みんながよどいて、みんなの力がよどいて、みんなの力が  
変わった、と思ってる。

途中、何度か3年はダメだと思って言われたけど  
やっぱり、やってよかったと思う。  
前の自分達、自分達に成長できるよな、  
分かってしまわぬように...  
みんなのことを伝える、行動力だ、と思ってる。

早野ソランは、今年、初めてやり、自分達、本音で  
話を聞いてくれた。でも、3年生最後の早野ソラン  
で、リビをやって、自分が楽しいときは、みんなが  
喜んでくれるんだ、と思ってる。

この早野ソランを通して、自分は変われたと思  
え、みんなの自分だけじゃなく、三年全員が変われた  
と思う。来年も、ぜひ早野ソランを続け  
たいと思ってる。先生が助けてくれて、成長した  
早野ソランだと思ってる。ありがとうございました。

早野中の歴史を少しだけでも変えられたのかな、と思ってる。  
練習では、みんながよどいて、タヌンター決めたけど、  
怒られたことばかり、自分達に火がついて、  
みんなを盛り上げたと思ってる。  
自分達にいろいろあったものを、変えてくれた  
経験が、よかった。

自分から、進んでやることになった。本当に2年のころから言われていることが、

全く改善されなくて、3年目になってようやく変わっていった。  
でも、早野ソーランという行事があったことで  
大切なことを見つけられたと思う。

早野ソーランを教えてくださり

ありがとうございました。

#### ・感想抜粋

「私たちの足りない部分を学べた。」

「積極性が足りずにいつも困っていたことがありました。けど、このソーランを機会に個人個人の気持ちが変わればいいなと思いました。」

「今の3年生は自分がやろうという意識が低いけど、ソーランをやってみんなが全力でやることで一人ひとりの意識が変わったと思う。」

「リーダーをやってみて、自分が楽しいときは、誰かが支えてくれているんだと思いました。」

「僕たち3年は自覚がなかったんだと思った。今回だけじゃないけど、切り替えて最上級生として生活していく。」

「やればできるという自信がつき、これを継続しなくてはいけないと思いました。」

「前の自分達からさらに成長できるように、なまけないように…そんなことを伝える行事だったと思う。」

「自分は変わったと思う。3年生全員が変わるきっかけになったと思う。」

「大切なものを見つけられたと思う。」

#### ・感想を読んで

練習期間中にも、リーダーを名乗り出ない3年男子生徒に「自分たちが変わりたいと思わなければ変えることは出来ない。」「変わりたいなら今がチャンスだ。」と思いを伝えた。

リーダーは各列の先頭で踊り、移動を先導する。リーダーが間違えればみんな間違える。リーダーの責任感が練習へのとりくみを変えた。昼休みに自主的に練習を始めた。最初はリーダーを含めた数名であったが、人数は日を追うごとに増し、練習後半にはほぼ全員が体育館に集まっていた。私は体育館のステージでその様子を見ていた。生徒たちが家で練習しているのも明らかに分かる成長ぶりだった。そして、練習の様子が何とも楽しそうであった。

本番は緊張感の中にも、楽しんで踊る生徒の様子や、アンコールをかける卒業生、大きな拍手とともに初めての早野ソーランを終えることができた。

#### ・運動会を終えて

運動会を終えると、1年生は鴨川宿泊学習、2年生はつくば宿泊学習、3年生は修学旅行が始まった。ここでも実行委員を中心とした、主体的な活動が展開されていた。

3年生は、運動会という行事を通して変わろうとしていることが分かる。修学旅行を学年全体で楽しもうという目標を持っている。忙しい中にも、準備が計画的に進んでいる状況が理解できている。何より変わってきたと感じるのは表情が明るいことだ。褒めることが多くなった。運動会を成功させた経験は、運動会後の活動に活かされていると感じている。

## 5 研究の成果と今後の課題

### (1) 成果

#### ①生徒が主体的に運営する運動会の組織作りに対して

運動会の種目検討から準備、練習、毎日の連絡、当日の仕事、片付けの指示など、多くの生徒が運営に関わることができた。生徒が自ら動くためには、教職員の事前の準備が必要となる。教職員が自分でやってしまったほうが楽だろう。縦割りで係分担を行っていた為、1・2年生の動きにも気を配る必要があった。しかし、あえて生徒に任せ、失敗をしながらも経験を積ませたことは、来年度、再来年度に必ず生きるものだと感じている。

組織を作り、計画を立て、見守ってやれば生徒は動く。私たち教職員の予想を上回る働きを見せる。いろいろな所で責任を果たそうと、生き生きと活動する生徒の様子が心に残った行事になった。

#### ②今年度から新たにとりくむ種目を通して、能動的に行動を起こす生徒の育成に対して

昨年度の男子組体操、女子のダンスに変わり、今年度から全校生徒による早野ソーランを実施した。各学年のリーダーを集い、各学年の指導に責任を持たせた。

自主的に練習する様子や、各学年への声掛けの様子から、リーダーのみならず、多くの生徒が自主的に動いていることが分かった。何より楽しそうに踊る生徒が印象的であった。感想からも、新たなとりくみを成功させた充実感を感じるものが多く、これからの生活に活かすといったコメントが多くあった。

### (2) 課題

今年度変更した組織や、種目の定着は来年度以降のとりくみにかかっている。できるだけ縦割りで係りに当たらせたので、1・2年生も3年生と共に経験できたはずだ。来年度は、その生徒たちが積極的に動くことができれば更にスムーズに生徒主導の運営ができると思う。

この先の様々な行事も、生徒が能動的に動けるような組織運営を学校全体で継続することで、学校生活を意欲的に送る生徒の育成を目指したい。